

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第 2 類医薬品

ウチダの漢方製剤

ウチダの 防風通聖散料

ボウフウツウショウサンリョウ

ウチダの防風通聖散料は漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎じ薬で、芳香性のにおいがあります。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の人には本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) 発汗傾向の著しい人。
 - (6) 高齢者。
 - (7) 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。

その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1 ヶ月位（便秘に服用する場合には 1 週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：高血圧の随伴症状（どうき、肩こり、のぼせ）、肥満症、むくみ、便秘。

用法・用量

年 齢	1 日 量
大人（15 歳以上）	1 袋（1 日分）につき、水約 600mL を加え、あまり強くない火にかけ、約 300mL に煎じつめ、袋をとり出し、3 回にわけて食前 1 時間又は食間空腹時に温服する。
15 歳未満	服用しないこと

成分・分量

本品 1 袋 1 日分（26.36 g）中

ト	ウ	キ	1.2 g	マ	オ	ウ	1.2 g					
シ	ャ	ク	ヤ	ク	1.2 g	ダ	イ	オ	ウ	1.5 g		
セ	ン	キ	ュ	ウ	1.2 g	ビ	ャ	ク	ジュ	ツ	2.0 g	
サ	ン	シ	シ	1.2 g	キ	キ	ョ	ウ	2.0 g			
レ	ン	ギ	ョ	ウ	1.2 g	オ	ウ	ゴ	ン	2.0 g		
ハ	ッ	カ	1.2 g	カ	ン	ゾ	ウ	2.0 g				
シ	ョ	ウ	キ	ョ	ウ	0.4 g	セ	ッ	コ	ウ	2.0 g	
ケ	イ	ガ	イ	1.2 g	カ	ッ	セ	キ	3.0 g			
ボ	ウ	フ	ウ	1.2 g	乾	燥	硫	酸	ナ	トリ	ウム	0.66 g

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社 ウチダ和漢薬 03 - 3806 - 4141

受付時間 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

東京都荒川区東日暮里 4-4-10